

叡啓大1期生 学びの成果

アプリ制作や訪日客テーマに発表



研究成果を発表する叡啓大の学生

叡啓大（広島市中区）の1期生として2021年に入学した4年生による研究成果の公開報告会が24日、同大であった。

多くの学生が卒業を控えた時期に初めて開いた。教員の推薦や自薦の10人が、自身の関心に基づいた調査結果や考察を発表した。

大久保帆夏さん(22) 安佐北区IIは、発達障害のある子どもが集まる放課後等デイサービスでアルバイトした経験から、子どもの行動をデジタルで記録するアプリを作ったことを発表した。今後、

アルバイト先の従業員に試しに使ってもらうことから、「介護や教育の現場にも広がれば」と期待した。

急増しているインバウンド（訪日客）対策や、LGBTQ+（性的少数者）の生きづらさに向き合う方法などの発表もあった。（坂上晴香）